

戸田市 事務事業評価 《事後評価シート》

事務事業名	7559 観光振興事業													
担当組織	環境経済部				経済政策課				担当		経済政策担当			
組織コード	H30	15	01	00	会計・款・項・目・大事業・中事業	H30	01	07	01	04	01	01	記入日	平成30年06月13日
	H29	15	01	00		H29	01	07	01	04	01	01		

1. 事務事業の概要

総合振興計画上の位置づけ												実施計画候補	
基本目標	06	活力と賑わいを創出できるまち										● 対象 ○ 対象外	
分野	03	地域資源											
施策	70	地域資源を活かしたシティセールス											
事業期間	平成12年度～平成32年度												
根拠法令 通達等	戸田市観光事業関係団体振興補助金交付要綱 戸田橋花火大会実行委員会補助金交付要綱				関連計画 施政方針		戸田市シティセールス戦略						
事業区分	<input type="radio"/> 法定受託事務 <input type="radio"/> 自治事務のうち義務的なもの <input checked="" type="radio"/> 自治事務のうち任意のもの												
対象	観光事業を行う団体。市民及び市外からの入込客。												
事業目的	観光資源を活用することで、戸田市への愛郷心向上や集客につなげ、地元経済等の活性化を図る。また、戸田市のシティセールスを行う。												
事業内容	戸田橋花火大会の実施 観光振興事業の支援 フィルムコミッション事業 戸田市観光情報館トビック管理業務												
実施主体	<input type="checkbox"/> 市による単独直営 <input type="checkbox"/> 委託 (<input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> 市民・NPO) <input checked="" type="checkbox"/> 協働・協力 (水と緑の公社等)												

2. 実施結果

事業の 予算・実績	事業内容		平成29年度 執行額(千円)	平成30年度 予算額(千円)	平成31年度 計画額(千円)	平成32年度 計画額(千円)	平成33年度 計画額(千円)	
	事業費		53,568	72,798	7,006	7,006	7,006	
	財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	
		県支出金	0	0	0	0	0	
		起債	0	0	0	0	0	
		その他	0	1	1	1	1	
	一般財源		53,568	72,797	7,005	7,005	7,005	
	人件費		8,966.1	8,966.1	8,966.1	8,966.1	8,966.1	
	投入 人員	常勤職員	1.3人	1.3人	1.3人	1.3人	1.3人	
		非常勤職員	0人	0人	0人	0人	0人	
事業費+人件費		62,534	81,764	15,972	15,972	15,972		
目標達成 状況	指標名		単位	説明・算定式		H28目標 H28実績	H29目標 H29実績	H30目標 H30実績
	活動①	花火大会の情報発信	回	広報・HP・ポスター・ 商工会報等の掲載回数		80	150	200
	活動②	映画等撮影依頼への対応	件	撮影依頼への対応件数		210	227	—
	成果①	花火大会の市内外認知度合い	%	市内外で販売した有料指 定席の販売率		200	200	190
	成果②	映画等撮影実績	件	撮影に至った件数		200	183	—
						100	100	100
目標達成 状況 の分析		B：活動・成果のいずれかを達成した。 <判断理由> 花火大会の情報発信については、各メディア掲載実績、SNS・HPでの発信、ポスター掲示数等を計数した。 有料指定席の販売については完売となり、花火大会の市内外認知度合いについては達成となった。 フィルムコミッション事業については、実績的には安定しているが達成に至っていない。						

3. 評価結果

施策への貢献度	評価結果			施策の目標達成に向けて貢献しているか。
	27年度	28年度	29年度	B：施策の目標達成に貢献している。
	A	B	B	<判断理由> 戸田橋花火大会については、市内外から多くの観覧者を集め、戸田市最大のイベントとしてシティセールスに大いに貢献している。また、フィルムコミッション事業についても多くの問合せがある。
経費水準	評価結果			事業費・人件費の水準は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：経費は適正な範囲である。
	A	B	B	<判断理由> 戸田橋花火大会については、有料指定席の販売や協賛金の収益により適正な範囲で事業が行われている。 戸田市観光情報館トピックについては、市の情報発信の拠点とするとともに、優良推奨品等の展示販売の場として、適正に運営されている。
事業手法	評価結果			事業手法は適正か。
	27年度	28年度	29年度	B：事業手法は適正な内容である。
	B	B	B	<判断理由> 戸田橋花火大会の運営においては、会場設営や有料指定席の販売、警備業務等を委託することにより、職員の負担軽減に繋がっていることから、事業手法は適正な内容であるといえる。
受益・負担の公平性	評価結果			受益の公平性と負担の適正化は図られているか。
	27年度	28年度	29年度	B：受益・負担は適正な範囲である。
	B	B	B	<判断理由> 戸田橋花火大会の開催にあたっては、煙火費や警備費、来場者のための仮設トイレの設置、ごみ処理等の支出があるものの、有料指定席や協賛による収入、来場者による市内への経済効果を考慮すると、受益・負担は適正な範囲であるといえる。

4. 平成29年度中に実施した見直し内容

見直し内容	戸田市へふるさと納税をされた方に対する返礼品としての指定席を設けるとともに、河川敷内に市内商店会による出店エリアを設け、花火大会の活性化を図った。
見直しの効果	ふるさと納税の返礼品として用意した席はすべて申し込みがあり、河川敷内の市内商店会による出店エリアについても用意した商品が完売するなど、大きな反響があった。

5. 今後の方針

事業の方向性	<input checked="" type="radio"/> 1 現状で継続 <input type="radio"/> 2 拡大して継続 <input type="radio"/> 3 縮小して継続 <input type="radio"/> 4 他事業と統合 <input type="radio"/> 5 休止 <input type="radio"/> 6 その他見直し <input type="radio"/> 平成31年度で終了 <input type="radio"/> 平成30年度で終了 <input type="radio"/> 平成29年度で終了
	<判断理由> シティセールス戦略に貢献すべき取組みの核として、地域資源の利活用と効果的な発信は重要なことから、引き続き積極的に取り組む。
今後の取組方針	戸田市の魅力を市内外に発信することにより、戸田市の認知度を高め、人や企業を呼び込み、引き留めることにより、将来にわたりまちの活力が維持されると考える。そのため、市が単独で行うだけでなく、各団体等との協力関係を構築し、引き続き地域資源を活かした取組を実施していく。また、戸田市観光情報館トピックについての更なる有効活用についても研究をするとともに、情報発信を行っていく。